

# 2017 年度

## 韓国留学報告書

実習先：慶熙大学

実習期間：9月5日（火）～12月28日（木）

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21016052  
珊瑚怜奈

## 目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	6
5	所感	7
6	おわりに	8
	謝辞	8

## 付録

	研修日誌	9
--	------	---

## 1 研修先及び実習期間

研修先：慶熙大学 国際教育学科

研修期間：平成 29 年 9 月 6 日（水）～平成 29 年 12 月 22 日（金）

※帰国は 12 月 28 日（木）

## 2 研修先概要

### (1)大学について

慶熙大学はソウルに位置する。ソウルは韓国の首都であり、近代的な高層ビルや地下鉄の他にも歴史的な建造物も混在する都市であり、人口約 1000 万人の韓国最大都市である。慶熙大学は現在、ソウル、水原、光陵の三ヶ所にキャンパスを構えている幼稚園から大学院までの総合教育体系を備えた韓国の名門私立大学である。大学の教育の質はもちろん、大学内の正門、平和の殿堂、本館、クラウン館などの建造物も有名であり、そこでは芸能イベントも時折行われている。そして多くの韓国の著名人の出身校としても有名である。

### (2)大学で行われている教育について

慶熙大学は数ある韓国の大学のなかでも韓国語教育に力を入れている韓国の国際化をリードする大学であり、毎年 40 ヶ国から 1200 人以上の留学生が通う。クラスは個人のレベルに合わせて、初級、中級、高級を各 2 段階に分けた 6 クラスで編成されており、約 15 人 1 クラスで授業が行われている。この大学の韓国語教育の大きな特徴として『トウミ制度』というものがある。これは留学生のために、慶熙大学の韓国人学生が韓国語学習や韓国での生活のバックアップをするチューター制度である。毎週約三時間このトウミ活動があり、韓国人学生と一対一で会話することにより韓国語での会話力の向上を図ることができる。

## 3 留学目的

今回の留学の一つ目の大きな目的は、韓国語能力の向上である。日本では日常であまり触れる機会のない韓国語は、今までの週三回の韓国語の授業だけでは、韓国語に触れる機会があまりにも少なく、そして机の上での学習が主であり、語学能力の最も重要な会話能力の向上が図られないと感じた。そこで韓国へ留学し本場で学習しながらそこで生活し、ネイティブな韓国語、日常で使われる韓国語を聞く、読む、会話することによる韓国語能力の向上を目的とした。

二つ目の目的としては、日本との文化の違いを感じることである。旅行とは違い、留学は生活をすることも含まれている。生活することで日本と韓国の人の違い、気候の違い、食の違いなどの様々な違いが見える。そして、一緒のクラスで学習する様々な国の人達と触れ合うこともできる。よって韓国だけでなく世界と日本の違いを学び、理解することを目的とした。

#### 4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

##### 4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日 (曜日)	午前	午後
9	5 (火)	出国	韓国到着、入寮
	6 (水)	入学式、オリエンテーション	
	7 (木)	韓国語	
	8 (金)	韓国語	
	11 (月)	韓国語 (NUIS 学生のみ)	オリエンテーション
	12 (火)	韓国語 (NUIS 学生のみ)	特別講義
	13 (水)	韓国語 (NUIS 学生のみ)	韓国の歌
	14 (木)	現地学習 (中央博物館、ソウルタワー)	
	15 (金)	韓国語 (NUIS 学生のみ)	
	18 (月)	韓国語 (NUIS 学生のみ)	韓国の映画
	19 (火)	韓国語 (NUIS 学生のみ)	特別講義
	20 (水)	韓国語 (NUIS 学生のみ)	韓国の歌
	21 (木)	現地学習 (景福宮)	
	22 (金)	韓国語 (NUIS 学生のみ)	
	25 (月)	韓国語 (NUIS 学生のみ)	韓国の映画
	26 (火)	入学式 (秋学期)	特別講義
	27 (水)	韓国語	韓国の歌
	28 (木)	韓国語	セミナー
29 (金)	韓国語		
10	2 (月)	秋夕休み	
	3 (火)		
	4 (水)		
	5 (木)		
	6 (金)		
	9 (月)	韓国語	韓国の映画
	10 (火)	韓国語	特別講義
	11 (水)	韓国語	韓国の歌
12 (木)	韓国語	セミナー	

	13 (金)	韓国語	
	16 (月)	韓国語	韓国の映画
	17 (火)	韓国語	特別講義
	18 (水)	韓国語	韓国の歌
	19 (木)	韓国語	セミナー
	20 (金)	韓国語	
	23 (月)	韓国語	韓国の映画
	24 (火)	韓国語	特別講義
	25 (水)	韓国語	韓国の歌
	26 (木)	韓国語	セミナー
	27 (金)	韓国語	
	30 (月)	韓国語	韓国の歌
	31 (火)	韓国語	特別講義
11	1 (水)	中間試験	
	2 (木)	中間試験	
	3 (金)	韓国語 (試験問題解説)	
	6 (月)	韓国語	韓国の映画
	7 (火)	韓国語	特別講義
	8 (水)	現地学習 (雪嶽山)	
	9 (木)		
	10 (金)	韓国語	
	13 (月)	韓国語	韓国の映画
	14 (火)	韓国語	特別講義
	15 (水)	韓国語	韓国の歌
	16 (木)	韓国語	セミナー
	17 (金)	韓国語	
	20 (月)	韓国語	韓国の映画
	21 (火)	韓国語	特別講義
	22 (水)	韓国語	韓国の歌
	23 (木)	韓国語	セミナー
	24 (金)	韓国語	
	27 (月)	韓国語	韓国の映画
	28 (火)	韓国語	特別講義
	29 (水)	韓国語	韓国の歌
	30 (木)	韓国語	セミナー

12	1 (金)	韓国語	
	4 (月)	期末試験	
	5 (火)	期末試験	
	6 (水)	韓国語 (試験問題解説)	特別講義
	7 (木)	ローリングペーパー、面談	セミナー
	8 (金)	修了式 (秋学期)	
	1 1 (月)	TOPIC 対策	
	1 2 (火)	TOPIC 対策	特別講義
	1 3 (水)	TOPIC 対策	韓国の歌
	1 4 (木)	TOPIC 対策	セミナー
	1 5 (金)	TOPIC 対策	韓国の映画
	1 8 (月)	TOPIC 対策	韓国の映画
	1 9 (火)	TOPIC 対策	特別講義
	2 0 (水)	TOPIC 対策	韓国の歌
	2 1 (木)	TOPIC 対策	修了式
	2 2 (金)	セミナー	
	2 5 (月)	自由時間	
	2 6 (火)		
	2 7 (水)		
	2 8 (木)		

#### 4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

##### i)韓国語の授業

韓国語の授業 50 分授業の 4 限構成で、最初の 2 時間は文法、後の 2 時間は読解、会話、聞き取り、書きの授業が日替わりのローテーションで行われた。

##### ii)韓国の映画の授業

韓国語の映画を見て聞き取りの能力を身に着け、その映画に出てくる単語なども少し学習した。

##### iii)特別講義

特別講義では毎週違う内容の講義で、韓国の文化を中心に学習した。実践的な講義が多く、テコンドーやダンス、書道なども体験し、JUMP という舞台も見に行った。

##### iv)韓国の歌の授業

一人一曲好きな韓国の歌を決め、毎週二人ずつその好きな歌を歌う歌手や曲の歌詞などを紹介した。

#### v) セミナー

自分でテーマを決め、そのテーマに沿って調査し、その調査結果をまとめ、最終的に発表するという授業であった。調査段階では韓国の人などにもアンケート調査を行い、発表のためのパワーポイントも制作した。

#### vi) 現地学習

一回目の現地学習では、他のコースの留学生と共にバスでソウル市内の中央博物館やソウルタワーを見学した。二回目は国際情報の学生のみで景福宮などに行き、韓服体験もした。三回目の現地学習は、クラスの人と共に一泊二日で韓国東部にある雪嶽山や海などに行った。

#### vii) 試験

中間試験、期末試験共に2日間で文法、読解、会話、聞き取り、書きそれぞれの試験が行われた。会話の試験では、先生と一対一の法式とクラスの人と二人一ペアになり、出されたお題について会話する法式があった。

#### viii) ローリングペーパー

約二か月間共に勉強したクラスの仲間一人一人にお互いにメッセージを書いた。

#### ix) TOPIC 対策授業

最初の授業で TOPIC 試験の過去問を行い、その後の授業はその解説やよく出る文法などの授業を行った。

#### x) 修了式

秋学期の修了式と留学自体の修了式があり、秋学期の修了式では優秀な学生の表彰や先生たちによる出し物があった。留学自体の修了式では、学部長から直接修了証書を受け取った。

## 5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

#### i) 韓国語能力の向上

約4か月間の留学により、韓国語の聞き取り能力が大きく身についたことを感じる事が

できた。

会話能力も日常生活に必要な会話やクラスの友達と韓国語での会話を楽しめるほどの能力が身についたことを感じる事ができた。

#### ii)異文化の理解

韓国での生活のたくさんの場面や韓国の他にもクラスなどで他の様々な国の人と関わったことによって、国によつての文化の違いがたくさん発見することができた。そして日本だけで生活していたら分からない日本という国の長所や短所があるということも感じる事ができた。

## 6 反省・課題

この4か月間の留学生活で目標であった韓国語能力の向上、異文化理解も達成できた。それと共にさらにこの学んだことをさらに向上させていきたいと感じる留学であった。

今後はこの学んだものを TOPC 試験やハングル検定などで資格として形に残すことが課題である。

## 謝辞

今回、慶熙大学国際教育院にて親切に指導、サポートして下さったパク・ソニョン先生、林里奈先生、キル・ジス先生、ナム・ユジン先生、ペク・スンドク先生をはじめとする慶熙大学国際大学院の先生方、寄宿舎の管理人の方、その他この留学生活を支えて下さった多くの方々に深く感謝申し上げます。

そして、新潟国際情報大学から頂きました奨学金により、この留学という機会を頂きとても良い経験をさせて頂いたことを心から感謝申し上げます。



## 付録：研修日誌

9月5日 火曜日
出発 新潟空港
担当 シン・ウンジュ先生 パク・ソニョン先生
内容 ・新潟空港から仁川空港へ飛行機で移動 ・仁川空港でパク・ソニョン先生と合流 ・仁川空港からバスで寄宿舍へ移動 ・寄宿舍へ入寮

入国審査や入寮などもシン・ウンジュ先生やパク・ソニョン先生からのサポートもあり、スムーズに行うことができた。

9月14日 木曜日
現地学習 中央博物館 ナンタ劇場 ソウルタワー
担当 国際教育院の先生方
研修内容 ・バスで移動 ・中央博物館見学 ・食堂で昼食 ・ナンタ鑑賞 ・ソウルタワー見学

国際情報大学の学生だけでなく他の学生と共に行く現地学習であった。自力で行くのは難しい場所へも行くことができた。世界でも有名なナンタを見ることもできた。

9月21日 木曜日
現地学習 景福宮
担当 イム・ジウン先生
研修内容 ・地下鉄で移動 ・景福宮近くの食の博物館で結びひもと韓国の家庭料理調理体験

- ・景福宮近くのレンタル韓服店で韓服を着用
- ・景福宮見学

結びひもを作ったり、韓国の家庭料理のチヂミを作ったり、韓服を着て景福宮を見学するといういい体験がたくさんできた。

9月27日 金曜日
クラス発表 入学式
クラス教員名 ナム・ユジン先生
研修内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス発表</li> <li>・クラスでオリエンテーション（自己紹介、ルール決め）</li> <li>・入学式</li> </ul>

クラスメイトとの初の顔合わせだった。入学式では国際教育院で韓国語を学ぶ様々な国の多くの人が集まった。オリエンテーションでは自己紹介やクラス内でのルールを決めた。

10月8日 水曜日 ～ 10月9日 木曜日
現地学習 雪嶽山 江陵船橋荘
クラス教員名 ナム・ユジン先生
研修内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスで移動</li> <li>・食堂で昼食</li> <li>・雪嶽山散策</li> <li>・ホテル到着</li> <li>・レクリエーション（ゲーム）</li> <li>・ホテルで朝食</li> <li>・海岸散策</li> <li>・食堂で昼食</li> <li>・江陵船橋荘見学</li> </ul>

一泊二日の現地学習だった。クラス単位で行動する現地学習だった。

ソウルからバスで 3 時間ほどの地方に行き、ソウルとはまた違う韓国の自然をたくさん体験できた。雪嶽山という山を 2 時間ほど散策したり、江陵船橋荘という韓国の昔のお屋敷も見学することもできた。ホテルではレクリエーションでクイズやゲームをしたり、クラスで集まりお菓子を食べたりもした。